

平成24年度進行管理・評価シート
宇治市歴史的風致維持向上計画（平成24年3月5日認定）
（最終変更平成24年3月29日）

進捗評価シート(様式1)

組織体制(様式1-1)	
1 宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催	1
重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画道路の見直しの取組	2
2 景観計画重点区域の景観形成道路の路線拡大	3
3 重要文化的景観宇治地区の整備基本計画の策定	4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 宇治上神社拝殿ほか屋根葺替修理事業	5
2 歩道整備事業	6
3 無電柱化事業	7
4 建物修景助成事業	8
5 屋外広告物助成事業	9
6 宇治茶園支援事業	10
7 宇治茶品質向上事業	11
8 宇治茶普及啓発事業	12
9 市営茶室対鳳庵活用事業	13
10 宇治川鷓飼助成事業	14
11 宇治十帖スタンプラリー開催	15
12 京都・宇治灯り絵巻の開催	16
13 文化財見学会	17
14 歴史・文化啓発事業	18
15 史跡宇治川太閤堤跡調査	19
16 文化的景観整備計画策定調査	20
17 観光振興計画策定事業	21
文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・活用	22
2 文化財の修理(整備を含む)	23
3 文化財の保存・活用を行う施設	25
4 文化財の周辺環境の保全	26
5 文化財の保全及び活用の普及・啓発	27
6 埋蔵文化財の取扱い	28
7 埋蔵文化財の保存・活用に関わる 住民・NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備	29
効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 疫神祭「大幣神事」宇治初の無形文化財	30
2 茶どころ宇治で市民茶摘み 秋の源氏ロードを満喫 宇治十帖スタンプラリー	31
法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	32

評価軸 -1
組織体制

項目	評価対象年度	平成24年度 現在の状況
宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催		実施済 実施中 未着手

計画に記載している内容 計画を進めるうえでは、市民の声を取り入れるとともに、関係課で組織する「歴史まちづくり推進調整会議」で調整し、「歴史的風致維持向上協議会」の意見を伺い、事業の進捗管理や変更・追加を行うこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

学識経験者、文化財所有者、各種関係団体の職員及び行政関係者により構成される、歴史的風致維持向上協議会を開催し、歴史的風致維持向上に資する事業の追加や計画の進行管理・評価などについて、意見を聞くことができた。また、「宇治市歴史的風致維持向上協議会」の開催に先立ち、宇治市の歴史、文化、観光、茶業、都市整備、教育等の多岐にわたる行政各部局との連携を図るため、庁内関係各課の課長級のメンバーで構成される「宇治市歴史まちづくり推進調整会議」を設置し、庁内での横断的な連絡調整を行った。

[定量的評価]

宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催回数 : 2回

宇治市歴史まちづくり推進調整会議の開催回数 : 2回

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

道路事業などを実施する場合、道路を所管する関係課と技術的な連絡調整を必要としたことから、推進調整会議の下部組織に各事業ごとの専門的な深い議論が交わせる「専門部会」の継続的な開催が求められる。

状況を示す写真や資料等

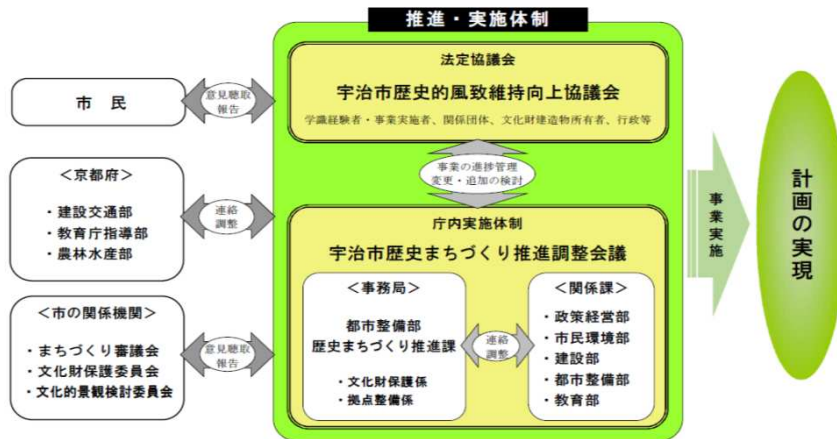


図3-8 事業の推進・実施体制図

歴史的風致維持向上協議会(歴史まちづくり推進調整会議)の開催状況

- 第1回 平成24年5月15日(平成24年5月8日)
 議題 : 1 宇治市歴史的風致維持向上計画の認定
 2 今年度事業予定
 3 情報共有事項

- 第2回 平成24年12月4日(平成24年11月27日)
 現地視察 史跡宇治川太閤堤跡発掘調査現場の視察
 議題 : 1 計画の変更と進捗状況について
 2 今後の取組について
 3 国への提出資料について



宇治市歴史的風致維持向上協議会の現地視察状況

評価軸 -1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成24年度
		現在の状況
都市計画道路の見直しの取組		実施済 実施中 未着手

計画に記載している内容 社会の状況が大きく変化していることから、都市計画道路の見直しを行っている。見直しの際に、道路整備による歴史資産や景観への影響を確認する。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

本市は、平成20年に市街地では国内初の選定となった「宇治の文化的景観」を景観形成のため重要な施策のひとつとして位置づけているが、同じく景観を形成する施策である、都市計画法の規制のひとつである都市計画道路の路線決定は、文化的景観の重要構成要素の建物や道路を分断する様な形で計画されていた。

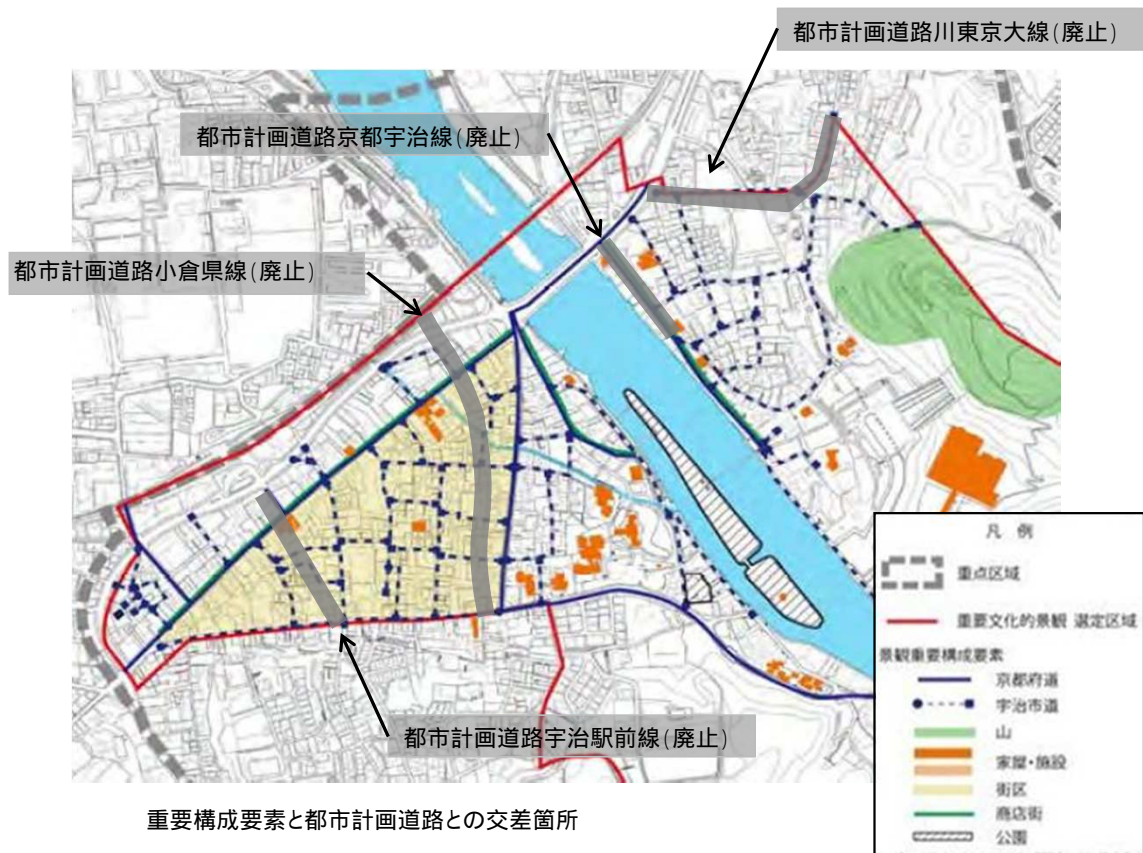
また、「京都府都市計画道路網見直し指針」に基づき、都市計画道路の存続・廃止の評価を行う中で、通過交通を処理する交通機能や、木造住宅が連担する地域の延焼を防止する防災機能など、道路を存続させる評価がある一方、歴史文化資産等と重複する路線は計画実現上で課題があるとする廃止の方向の評価もあった。存続・廃止の総合的な評価の結果、歴史文化資産を保全する方向で都市計画道路網の見直し案を作成し、平成24年4月27日に都市計画道路の見直しの都市計画決定を行い、都市計画法の規制による景観を形成する施策の充実を図った。

【定量的評価】

重要構成要素等と重複している都市計画道路の廃止路線数：4路線

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	防災機能を有する都市計画道路の決定を廃止したことから、文化的景観の選定されている市街地において、具体的な都市防災計画の検討を進める必要がある。

状況を示す写真や資料等



	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	

景観計画重点区域の景観形成道路の路線拡大

実施済
実施中
未着手

計画に記載している内容 景観計画重点区域では、主要な道路を景観形成道路として位置付け、その通りごとに特色ある景観形成に努めている。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

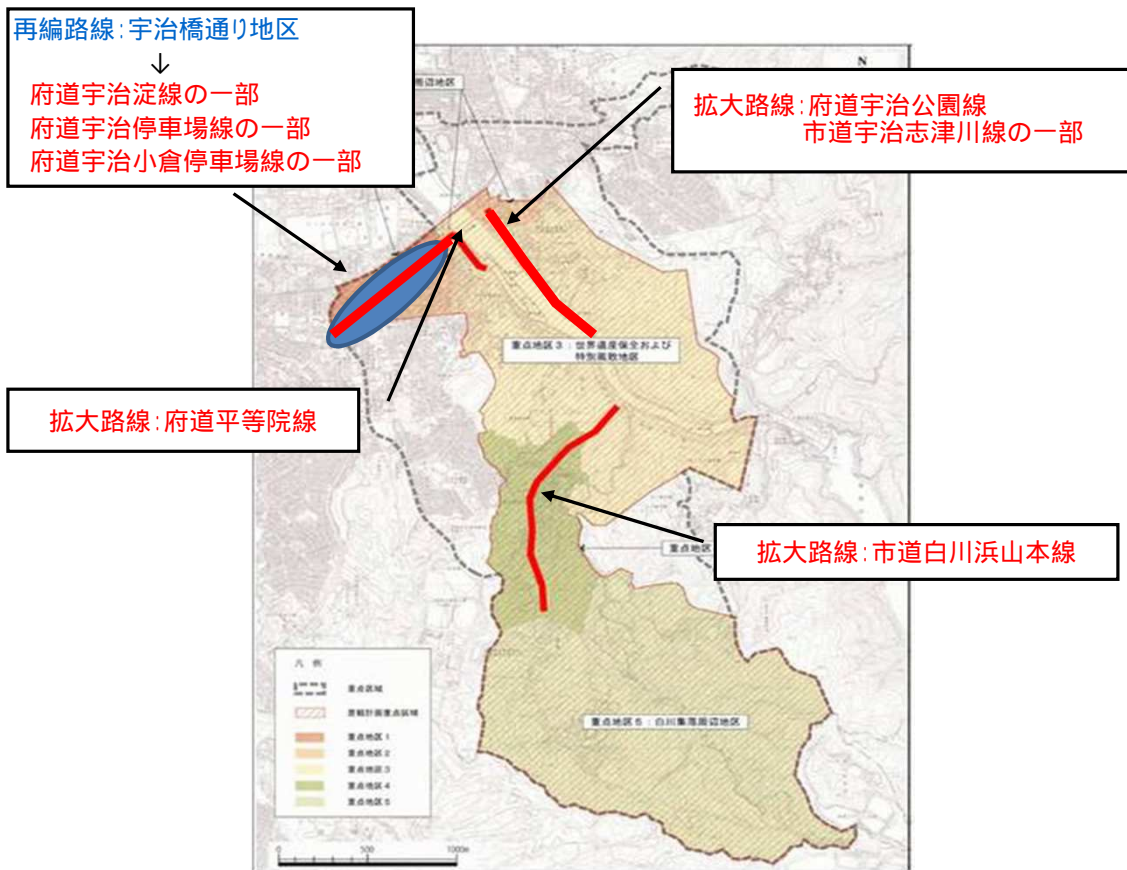
景観重点区域内の建築物・工作物等の更なる充実を図るため、平成24年度より景観重要公共施設の沿道の対象路線を宇治橋通り地区に加え、府道平等院線、府道宇治公園線、市道宇治志津川線の一部、市道白川浜山本線を対象路線に追加した。あわせて宇治橋通り地区を府道宇治淀線の一部、府道宇治停車場線の一部、府道宇治小倉停車場線の一部として再編した。対象路線を拡大したことにより、修景助成の拡充を図ることができた。

【定量的評価】

景観形成助成の件数 : 1件

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	

重要文化的景観宇治地区の整備基本計画の策定

実施済
実施中
未着手

計画に記載している内容

現在は、選定済の宇治地区を対象に整備計画の作成に着手しており、保存管理計画で定めた基本的な考え方のもと、重要構成要素に特定された物件を対象に、所有者等の協力を得て整備活用の具体的な方策について検討を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

文化的景観を適切に保存するために整備基本計画の策定をめざして調査を進め、文化的景観の保全に関しては、現在の景観が出来上がってきた土地利用過程の調査を古記録から分析を進めるとともに、選定地区に現存する300棟の伝統的木造建築の実態調査を行い、これら家屋がどのような利用実態にあるかを確認した。今後は、これら現在の都市景観に大きな影響を与えている家屋の保全方法に関して、個々の家屋に付随する価値の如何と諸制度との関係性の整理が必要となっている。

また、選定地区内の住民に対してアンケートや聞き取り調査を行い、住民の意識や文化的景観の認知度を把握し、整備計画策定の基礎資料とした。

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
------	----------	--------------------------

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



地域住民とのワークショップの開催状況

宇治市歴史まちづくり推進課からのお知らせ

宇治地区でアンケート調査を行います！
ご協力よろしくお願いいたします。

ご存じのように平成24年2月に歴史と宇治町を伝える宇治の風情が「宇治の文化の景観」として国の重要文化的景観に選定され、宇治地区もその景観を構成する重要な場所として指定されているところです。本市としましては、この宇治地区の保存と今後の発展について検討するため、下記のような景観調査を実施することになりましたので、お知らせします。何卒よろしくご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

【調査概要】

調査内容：・北海道大学によるアンケート調査
・宇治地区のまちなみ調査

※アンケートの詳細につきましては、後日お知らせいたします。

予定期間：平成25年2月末～平成25年3月末(期間内断続的に実施)

調査員：宇治市職員、北海道大学、奈良文化財研究所(社)歴史まちづくり研究会 他
(調査時は、腕章を装着しています)



左図の範囲で実施を予定しています。
実施期間中、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いたします。

調査実施予定範囲

【お問い合わせ】 宇治市 歴史まちづくり推進課
〒626-8502 宇治市 電話：074-22-1600 FAX：074-22-0400
E-mail: shiawachikyok@kyoto.jp

アンケート調査の実施依頼

		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
宇治上神社拝殿ほか屋根葺替修理事業		実施済 実施中 未着手	

事業期間 平成24年度 ~ 平成25年度

支援事業名 重要文化財(建造物・美術工芸品)修理、防災費国庫補助

計画に記載している内容 文化財としての価値の継承が図られる修理事業により、来訪者に宇治川東岸の歴史的景観をより魅力的に伝達できるとともに、地域住民による伝統的祭礼の継承への意欲を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

本事業は、国宝宇治上神社本殿及び国宝宇治上神社拝殿が、前回の檜皮葺屋根の修復事業から約30年が経過し屋根に損傷がみられることから、保存修理事業に着手するもの。修理事業は、平成24年度に国宝宇治上神社拝殿から着手し、拝殿修理が完了次第、国宝宇治上神社本殿の修理に着手し、平成25年度中の完成を目指す計画。

事業着手した今年度は、春に実施される祭礼の時期や秋の参拝客が多い時期を避け、国庫補助金の交付決定時期などを勘案して、計画どおり平成24年度の修理事業に着手することができた。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	保存修理事業の期間中は、素屋根が架かることから、参拝者や観光客に不便をかけることが懸念されるため、文化財の活用の観点から、保存の必要性のPRと修理期間等の積極的な情報発信を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



宇治上神社 素屋根設置状況



宇治上神社 屋根修理状況

		評価対象年度	平成24年度
		項目	現在の状況
歩道整備事業			実施済 実施中 未着手

事業期間 平成21年度 ~ 平成31年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容 史跡公園と宇治川周辺の歴史・文化資源を結ぶ道路として、歩道を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間を確保でき、宇治川周辺の回遊性の向上につながる。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

今年度は、市道宇治五ヶ庄線、市道宇治白川線の道路拡幅に伴う用地買収の交渉を実施した。現道拡幅より沿道の住民の生活再建を図りながら、権利者の協力や理解を得ながら任意交渉が実施できた。

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



事業の進捗状況

市道宇治五ヶ庄線道路整備事業

	評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況
無電柱化事業		実施済 実施中 未着手

事業期間 ~ 平成23年度

支援事業名 地域自主戦略交付金

計画に記載している内容 道路の無電柱化を行い道路景観の改善を行うことにより、沿道の歴史的建造物や巡行する伝統的祭礼との調和が図られるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

宇治橋通りの無電柱化による道路景観の改善により、沿道の歴史的建造物や巡行する伝統的祭礼との調和を図ることができた。また、区画線等の設置により歩行者の安全確保するとともに、地域住民が参加したワークショップや社会実験などの検討を経て整備されたことにより、住民と行政が共同し実施したまちづくりの活動意識が高まった。

[定量的評価]

電線類地中化事業延長 : L = 850m

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない 電線類の地中化により、道路景観の改善を行うことができたが、電線類で隠れていた看板等が目立つようになり、屋外広告物等の景観形成制度の更なる充実が求められる。

状況を示す写真や資料等



整備前



整備後

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
	項目	現在の状況

建物修景助成事業

実施済
実施中
未着手

事業期間 平成22年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史ある沿道景観の保全と形成を促進し、賑わいと風情あるまちづくりが推進される。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

本市は、景観形成助成事業として、景観計画重点区域内の「景観重要建造物」や、景観重要公共施設の沿道の「建築物・工作物」への景観形成助成や「屋外広告物」の助成事業を実施している。平成21年度に「宇治市景観形成助成金交付要項」「宇治市景観形成助成金 景観形成助成基準」を定め制度の充実を図り、平成22年度から景観形成助成制度を開始し、平成22年度、23年度にそれぞれ3件の景観形成助成事業を実施した。

【定量的評価】

景観形成助成の件数 : 1件

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
------	----------	--------------------------

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

景観計画に基づく景観形成と文化的景観保護推進事業に基づく助成制度の2つの制度が存在し、景観形成の対象となる建物所有者の意向等を反映した、効果的な制度の使い分けが必要。

状況を示す写真や資料等



景観形成助成による修理前



景観形成助成による修理後

		評価対象年度	平成24年度
		項目	現在の状況
屋外広告物助成事業			実施済 実施中 未着手
事業期間	平成22年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	景観阻害要因の減少とともに、歴史的な町並みと調和した賑わいと風情あるまちづくりが推進される。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			

景観計画重点区域内の屋外広告物の修景助成の申請がなかったため、平成24年度より路線拡大を図った。景観重要公共施設の沿道の助成対象区域において啓発チラシの全戸配布を行うとともに、市の広報紙「宇治市政だより」で、制度の周知・啓発に努め、次年度以降の修景形成の熟度をあげた。

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		市の助成制度を活用する場合の、個人の自己財源の確保が課題。景観施策による地域振興が経済活動に繋がるよう、歴史まちづくりの取組の充実が必要。

状況を示す写真や資料等



市政だよりによる啓発記事



助成対象区域で全戸配布した啓発チラシ

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
宇治茶園支援事業		実施済 実施中 未着手	

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 減少傾向にある宇治市域の茶園の維持・拡大を進めることや、伝統的栽培方法を推奨することで、生産者の経済的負担軽減と活動意欲を支える。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

高品質な宇治茶の生産を促進する事業として、宇治茶の伝統的製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手積み茶推進対策」支援事業を行い、宇治独特の茶園景観の形成に寄与した。

【定量的評価】

伝統技術継承対策事業の実施件数 : 18件(341.9 a)

手積み茶推進対策の実施件数 : 39件

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



伝統技術継承対策事業により支援が行われた「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況

手積み茶推進対策事業により実施された「お茶摘みさん」を募集するチラシ

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	
宇治茶品質向上事業	実施済 実施中 未着手	

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 品質向上への意欲増進や栽培・生産技術の向上が図られる。また担い手育成に取り組むことにより、生業の維持が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

6月14日に宇治市で開催した宇治市茶品評会、7月31日から奈良県で開催された関西茶品評会、8月28日から静岡県で開催された全国茶品評会に約70点以上の出品の支援を実施した。
茶品評会への出品を推奨することで、生産者の生産意欲を高めるとともに宇治茶の伝統的製法の継承につながった。

[定量的評価]

茶品評会出品数/入賞数 : 70点/26受賞

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



品評会の実施状況

	第66回全国 茶品評会	第65回関西 茶品評会	第44回宇治市 茶品評会
出品数	36	34	45
優等数			2
1等賞	3	2	2
2等賞	4	3	5
3等賞	8	6	4
農林水産大臣賞	受賞	受賞	-
産地賞	受賞	受賞	-

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況
宇治茶普及啓発事業		実施済 実施中 未着手

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民や来訪者が宇治茶に親しみ、宇治茶を理解することは、お茶のまち宇治の歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

5月13日に開催した「市民茶摘みのつどい」の開催や、10月7日に宇治川河畔一帯で開催された「宇治茶祭り」、「市民素人茶香服大会」への支援を実施したことにより、多数の市民や来訪者に宇治茶への親しみや理解を深めることに寄与した。

【定量的評価】

市民茶摘みのつどいの参加者数: 350人
 宇治茶まつりの参加者数 : 約1,800人
 市民素人茶香服大会の参加者数: 約70人

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



市民茶摘みのつどいの開催状況



宇治茶祭りの開催状況



市民素人茶香服大会の開催状況

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
	項目	現在の状況
市営茶室対鳳庵活用事業		実施済 実施中 未着手

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 茶文化を体験できる機会を提供することは、市民や来訪者に宇治茶の品質や、茶業全般への関心や理解を促すことにつながる。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

本格的数奇屋建築の市営茶室「対鳳庵」において、表千家・裏千家・山荘流の3流派による抹茶や、小川流、二条流、端芳菴流、方円流の4流派による煎茶の本格的なお点前の実施により、茶文化の体験できる機会の創出とお茶への関心や理解を促す場を提供することができた。

【定量的評価】

市営茶室でお茶席の利用者数 : 16,032人

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



抹茶によるお点前の実施状況



煎茶によるお点前の実施状況

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成24年度
		項目	現在の状況
宇治川鵜飼助成事業			実施済 実施中 未着手

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 平安貴族の宇治川見物のひとつであった宇治川の鵜飼は、鎌倉時代に禁止されたのち、昭和初年に復活し、以降宇治川の夏の風物詩として定着している。多くの来訪者を楽しませる鵜飼を継承する。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

鵜飼事業の実施に支援し、6月16日(土)から9月23日(日)までの出船期間中に乗り合い船、ツアー団体、貸しきり船などで約6,300人の乗船があった。増水・台風のため17日間の臨時休業があったものの、83日間の営業を実施することができ、宇治川の夏の風物詩として歴史的風致の維持及び向上に寄与した。

【定量的評価】

鵜飼乗船者数 : 約6,300人

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



宇治川鵜飼の実施状況



宇治川鵜飼の実施状況

	評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況
宇治十帖スタンプラリー開催		実施済 実施中 未着手

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 近世から親しまれる宇治の遊覧の1つ『源氏物語』宇治十帖めぐりを定期的に設けることにより、多くの人に宇治川河畔の歴史的風致に触れる機会が創出される。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

秋の行楽シーズンにスタンプラリーを5日間(10月21日・27日・28日・11月3日・4日)開催し、17,638人の参加があり、テーマを持った散策により、宇治の歴史的風致に触れる機会が創出された。

今年の開催は雨天の関係で、近年の中で最も少ない参加者数となったが、スタンプラリー特別ポイントとしていた発掘調査中の「史跡宇治川太閤堤跡」では、雨天などの天候に左右されず平均的な参加者数となった。周遊観光における史跡などの活用の可能性が高く評価できた。

[定量的評価]

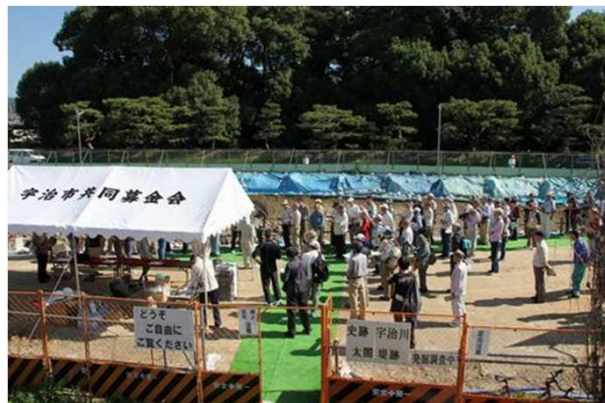
スタンプラリー参加者数 : 17,638人

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



スタンプラリーのスタンプ帖



スタンプラリー特別ポイントとしていた発掘調査中の「史跡宇治川太閤堤跡」

進捗評価シート		(様式1-3)	
評価軸 - 12			
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項			
		評価対象年度	平成24年度
		項目	現在の状況
京都・宇治灯り絵巻の開催			実施済 実施中 未着手
事業期間	平成23年度 ~		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	かつては宇治川の蛍狩りが夏の夜の風物詩として、多くの来訪者で賑わいを見せた。現在宇治川で蛍を見ることはできないが、夜に宇治川河畔を散策する機会を設けることで、かつてのような夜の賑わいの創出につながる。		
定性的・定量的評価(自由記述)		定量的評価は可能な範囲で	
<p>京都・灯り絵巻の開催の支援を実施し、平成24年10月12日(金)~14日(日)3日間宇治橋上流・府立宇治公園一帯を灯りの路として18時~21時までライトアップし、期間中約10,000人の参加があり、夜の宇治川河畔を散策する機会を設けることができた。</p> <p>併せて、国宝宇治上神社で夜間のライトアップを行うなど、夜間拝観を実施し文化財の活用にも寄与した。</p> <p>【定量的評価】 灯り絵巻の参加者数 : 約10,000人</p>			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
京都・灯り絵巻の実施状況			
			
京都・灯り絵巻の開催期間中、宇治上神社にて実施された夜間拝観の状況			

進捗評価シート		(様式1-3)	
評価軸 - 13			
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項			
		評価対象年度	平成24年度
		項目	現在の状況
文化財見学会			実施済 実施中 未着手
事業期間	平成23年度 ~		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	小中学生を対象にした文化財の普及・啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながるため、次世代へと引き継ぐべき歴史的風致の維持向上に寄与するものである。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
<ul style="list-style-type: none"> ・春の庵寺山古墳の一般公開 平成24年5月19日(土)10時~15時 ・[宇治川太閤堤跡]パネル展示 平成24年9月19日(水)~10月8日(祝)9時~17時 ・[宇治川太閤堤跡]発掘調査現場公開 平成24年10月10日(水)~12月8日(土)10時~15時 ・第22回小中学生の文化財見学会 平成24年12月8日(土) ・松殿跡発掘調査現地説明会 平成25年3月9日(土)13時~14時30分 約250人の来場者あり <p>宇治川太閤堤跡の発掘現場公開中、調査公開を楽しんでもらうため現地説明会や発掘調査成果説明会を開催した。また、12月8日のクローズイベントでは文化財見学会参加の小中学生が将来の夢を書いた木簡を茶壺タイムカプセルに入れ、史跡太閤堤の埋め戻しに伴い堤跡に保管した。</p> <p>[定量的評価] 宇治川太閤堤跡の発掘現場公開中の見学者数 : 3,312人</p>			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">史跡庵寺山古墳の一般公開の状況</p>  <p style="text-align: center;">史跡宇治川太閤堤跡発掘調査現場の一般公開の状況</p>			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況
歴史・文化啓発事業		実施済 実施中 未着手

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 文化的景観保護推進事業国庫補助

計画に記載している内容 多くの市民を対象にした歴史・文化の啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながる。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

歴史・文化啓発事業として、宇治の歴史を学ぶ公民館事業である「宇治の形」を9月15日から3回の講座や、平成24年12月8日に文化財愛護協会との共催による「文化財見学会」を開催した。また、10月27日に開催され、約5,600人もの参加があった、次世代に宇治茶の文化や魅力を伝える親子体験型の事業である、「宇治茶スタンプラリー」の後援も行った。さらに、平成25年3月20日(水・祝)13時~17時に文化的景観のフォーラムを開催し、フォーラムの冒頭では第22回小中学生の文化財見学会に参加した方の感想文コンクール表彰式を行い、パネルディスカッションには約160人の参加があった。

[定量的評価]

文化的景観フォーラム参加者数 : 約160人

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「宇治の形」の開催状況



文化的景観フォーラムの開催状況

	評価対象年度	平成24年度
	項目	現在の状況
史跡宇治川太閤堤跡調査		実施済 実施中 未着手
事業期間	～ 平成25年度	
支援事業名	史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備費	
計画に記載している内容	遺構に基づく整備を実施し、本市の歴史・文化の理解を促すことができる。	

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

史跡宇治川太閤堤跡では、平成19年に護岸遺構を確認した箇所の再発掘を実施した。今回の発掘では未調査部分の発掘調査と、三次元測量によって護岸遺構の詳細な立体構造の記録作成を行った。三次元での立体構造の記録をとることで、今後実施する歴史公園での文化財の復元展示に必要なデータ収集や、情報発信施設での立体映像等の展示などに活用できるようになり、史跡の効果的な公開活用を可能とした。

また、発掘調査の実施にあたり、発掘調査の一般公開を10月10日から11月30日の間で42日間実施し、文化財の保存調査の現状を広くPRするとともに、文化財を活用する公園整備の必要性等を多くの方に伝えることができた。

期間中に実施したイベント

- 10月13日(土) 発掘調査現地説明会
- 10月21日～ 宇治十帖スタンプラリー
- 11月17日(土) 発掘調査成果説明会
- 12月8日(土) クローズイベント

[定量的評価]

発掘調査現場の見学者数 : 約3312人

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		三次元解析による復元展示は、今回の規模では国内例を見ないため、技術的な検討、再現のコスト的な検討、文化財の再現性の検討など、多くの検討課題があり、引き続き学識経験者や文化財の専門家による検討委員会を継続的に開催し保存・再現方法を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



発掘調査の説明資料



発掘調査現場説明会の実施状況

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況
文化的景観整備計画策定調査		実施済 実施中 未着手

事業期間	～ 平成27年度
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助

計画に記載している内容
地域の自然・歴史・社会的文脈を保全しつつ、次世代のまちづくりを考える文化的景観の保護の取組は、歴史的風致の維持向上と密接に関わるものであり、整備計画において宇治地区の街区構造の継承や茶業関係の家屋の修景など整備活用の具体的検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

文化的景観を適切に保存するために整備基本計画の策定をめざして調査を進めている。文化的景観の保全に関しては、現在の景観が出来上がってきた土地利用過程の調査を古記録から分析を進めるとともに、選定地区に現存する300棟の伝統的木造建築の実態調査を行い、これら家屋がどのような利用実態にあるかを確認した。今後は、これら現在の都市景観に大きな影響を与えている家屋の保全方法に関して、個々の家屋に付随する価値の如何と諸制度との関係性の整理が必要となっている。また、選定地区内の住民に対してアンケートや聞き取り調査を行い、住民の意識や文化的景観の認知度を把握し、整備計画策定の基礎資料とした。

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



地域住民とのワークショップの開催状況

宇治市歴史まちづくり推進課からのお知らせ

宇治地区でアンケート調査を行います！
ご協力よろしくお願いいたします。

ご存じのように平成21年2月に歴史と宇治茶を伝える宇治の風情が「宇治の文化的景観」として国の重要文化的景観に指定され、宇治地区もその景観を構成する重要な場所として評価されているところです。本市としましては、この宇治地区の保存と今後の整備について検討するため、下記のような景観調査を実施することになりましたので、お知らせします。何卒よろしくご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

【調査概要】

調査内容： ・北海道大学によるアンケート調査
・宇治地区のまちなみ調査

*アンケートの詳細につきましては、後日お知らせいたします。

予定期間： 平成25年2月末～平成25年3月末(期間内断続的に実施)

調査員： 宇治市職員、北海道大学、奈良文化財研究所(社)歴史まちづくり研究会 他
(調査時は、腕章を装着しています)

調査実施予定範囲

左図の範囲で実測を予定しています。
実施期間中、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いたします。

【お問い合わせ先】 宇治市、歴史まちづくり推進課
文化財課 電話：074-22-0400
電話：074-22-0400(直通) FAX：074-22-0400
E-mail: info@city-uji.lg.jp

アンケート調査の実施依頼

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況

観光振興計画策定事業

実施済
実施中
未着手

事業期間 平成24年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史・文化資源や歴史的まちなみの回遊性を向上させ、まち全体を楽しむ観光振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

観光振興計画の策定には、行政のみならず地元の観光協会を中心とした観光事業者の協力を必要とした。そのため行政が組織する策定委員会のほかに、多岐にわたる多くの観光事業者からなる専門委員会を組織することにより、実効性の高い計画策定を進めることができた。計画の策定により、歴史・文化等の資源を活用した観光振興に寄与する計画となった。

【定量的評価】

- 行政が開催する観光振興計画策定委員会の開催回数 : 5回
- 観光事業者が中心の観光協会専門委員会の開催回数 : 5回
- 行政内部の横断的な庁内ワーキンググループの開催回数 : 5回

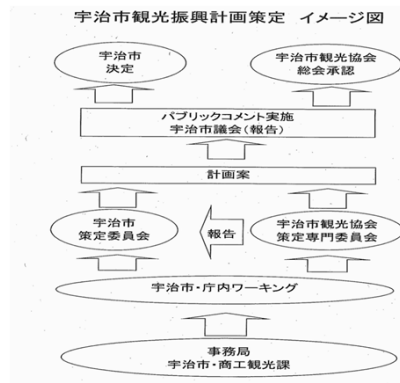
進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

観光振興計画策定に伴う委員の構成

選出分野	宇治市 策定委員会	観光協会 専門委員会
学識経験者	2	1
広域観光分野	1	1
市観光協会	1	1
市商工会議所	1	1
市内商店街関係	3	6
寺社仏閣関係	1	3
茶業関係	1	1
交通事業者関係	0	3
広域行政部局	1	0
宇治市関係部局長	4	1
合計	15	18



庁内ワーキンググループ

市民環境部	商工観光課、文化自治振興課、農林茶業課	10課
都市整備部	都市計画課、歴史まちづくり推進課、交通政策課	
教育部	生涯学習課、源氏物語ミュージアム	
政策経営部	政策推進課	
総務部	IT推進課	

委員会の開催状況

	策定委員会	専門委員会	議題
第1回	平成24年5月25日	平成24年5月18日	スケジュール、調査結果、総括
第2回	平成24年7月20日	平成24年7月6日	目標設定、重点施策、方向性確認
第3回	平成24年10月22日	平成24年10月15日	計画初案検討
第4回	平成24年12月25日	平成24年12月14日	計画初案、パブコメ実施案策定
第5回	平成25年3月15日	平成25年3月12日	パブコメ結果報告、計画案策定

計画策定に伴う、意見聴取の実施状況

議会報告	平成24年5月9日		
パブリックコメント	平成25年2月1日	平成25年3月4日	19人から74件の意見あり
シンポジウム	平成25年2月9日		21人から33件の意見あり
議会報告	平成25年1月22日		
議会報告	平成25年4月16日		

評価軸 - 1
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用	実施済 実施中 未着手	

計画に記載している内容 無形文化財や民俗文化財の指定件数は少ない。市内全域でのこれら祭礼・行事の調査や記録作成、市民に対する普及啓発活動に取り組む。また、必要に応じて宇治市の文化財指定を行うなど保護の措置を講じ、活動に対する支援に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

大幣神事は、代表的な「宇治に伝わる祭礼の歴史的風致」として重視している一方、「大幣座」という地域の地縁団体に運営されている現状があり、行政による保護と活用を必要としたことから、平成24年3月27日に市の無形民俗文化財の指定を行った。

文化財の指定をすることによる保存・活用としては、大幣神事では、毎年祭事・所作の変化を記録する写真撮影などを行うとともに、文化財愛護協会による文化財説明会(平成24年12月8日開催)を実施し、市民に対する普及啓発活動を実施することができた。

[定量的評価]
文化財指定件数 : 1件(重点区域内)

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	市の文化財指定を行うだけでは十分な保存とはならず、引き続き祭礼の記録や普及啓発活動を支援し、祭礼の継続実施に努める必要がある。
-----------------------------	---

状況を示す写真や資料等



市指定無形民俗文化財「大幣神事」



史跡宇治川太閤堤跡の文化財説明会

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	
文化財の修理(整備を含む)	実施済 実施中 未着手	

計画に記載している内容 国宝・重要文化財建造物の宇治上神社本殿・拝殿(国宝)は、前回の屋根葺替から拝殿は35年、本殿は30年が経過して桧皮の傷みが顕著になっており、このため国庫補助事業による屋根葺替修理が計画されている。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

国宝宇治上神社本殿及び国宝宇治上神社拝殿が、前回の檜皮葺屋根の修復事業から約30年が経過し屋根に損傷がみられることから、保存修理事業を実施した。修理事業は、平成24年度に国宝宇治上神社拝殿から着手し、拝殿修理が完了し次第、国宝宇治上神社本殿の修理に着手し、平成25年度中の完成を目指す計画。檜皮葺屋根の定期的な事業実施が文化財の保存に大きく寄与した。

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



宇治上神社 拝殿の修理状況



宇治上神社改修履歴

	修理内容	時期
宇治上神社本殿	解体	明治43年
	屋根	昭和18年
	屋根・部屋	昭和56年
宇治上神社拝殿	解体	明治41年
	屋根	昭和18年
	屋根	昭和51年
宇治上神社摂社春日神社本殿	屋根	明治18年
	災害	昭和25年
	災害部屋	昭和36年
	屋根	昭和56年
	部屋	昭和61年
	屋根	平成21年度

評価軸 - 3
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成24年度
文化財の修理(整備を含む)	現在の状況	実施済 実施中 未着手

計画に記載している内容 重要文化的景観重要構成要素の家屋は修理・修景事業が計画されており、国の制度を活用して所有者の支援ができるよう、本市における条例づくりを進めるものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

「宇治市分担金徴収条例」を策定し、重要文化的景観の重要構成要素である建築物の修理・修景を行う制度の充実を図り、重要構成要素の建築物や豪雨により被災した茶畑の修理修景を実施した。
平成24年8月に発生した京都府南部地域豪雨災害では、重要構成要素としている「覆下栽培」による茶畑が甚大な被害を受けた。復旧にあたり、重要文化的景観の重要構成要素とする文化財としての価値付けにより災害復旧に寄与したことが、地域住民に対して文化財の価値付けの理解を深めることとなった。

[定量的評価]
重要構成要素の建築物修理修景事業の実施件数: 3件
災害による重要構成要素(茶園)の修理修景の実施件数: 8件

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	被災した茶畑の早急な復旧とともに、更なる文化財としての価値付けの理解・普及の推進が必要である。
-----------------------------	---

状況を示す写真や資料等

中村藤吉本店

上林家住宅

白川地区の茶畑

中村藤吉本店土蔵修理

上林家住宅茶室屋根修理

評価軸 - 4
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成24年度
文化財の保存・活用を行う施設	現在の状況	実施済 実施中 未着手

計画に記載している内容
北側のAゾーンは太閤堤の築堤期を再現、また南側のBゾーンは太閤堤の埋没期を再現するという、整備方針を定めている。指定地と隣接する区域には、史跡整備と一体となった交流ゾーンを整備することで、宇治の歴史文化の情報発信や来訪者の利便性を満たす機能を補完し、(仮称)宇治川太閤堤跡公園としての公開を目指している。
今後史跡の復元整備に関しては、文化庁・京都府教育委員会の指導のもと、「宇治川太閤堤跡保存整備検討委員会」に諮りながら進めるものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

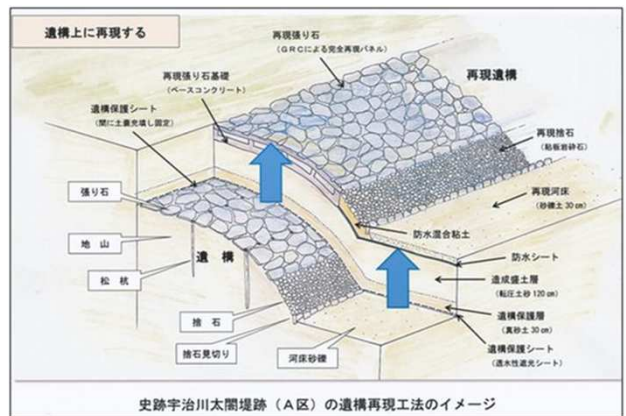
史跡宇治川太閤堤跡の発掘調査は、平成19年に護岸遺構を確認したことに加え、今回、未調査部分の発掘調査と、三次元測量での詳細な立体構造の記録作成を行った。三次元での立体構造の記録をとることで、今後実施する歴史公園での文化財の復元展示に必要なデータ収集や、情報発信施設での立体映像等の展示などに活用できるようになり、史跡の効果的な公開活用を可能とした。
また、「宇治川太閤堤跡保存整備検討委員会」を開催し、史跡の復元整備の意見を聴取した。

[定量的評価]
宇治川太閤堤跡保存整備検討委員会の開催回数: 3回

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		三次元解析による復元展示は、今回の規模では国内例を見ないため、技術的な検討、再現のコスト的な検討、文化財の再現性の検討など、多くの検討課題があり、引き続き学識経験者や文化財の専門家による検討委員会を継続的に開催し保存・再現方法を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等

遺構再現のイメージ



宇治川太閤堤保存整備検討委員会の開催状況

- 第1回 平成24年5月31日(木)
視察 : GRCパネルの視察
議題 : 平成24年度事業について
GRCパネルの検討
- 第2回 平成24年10月26日(金)
視察 : 史跡宇治川太閤堤跡 発掘現場現地視察
議題 : (仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園整備計画について
史跡宇治川太閤堤跡A工区の再現方法について
- 第3回 平成25年1月18日(金)
議題 : 平成24年度 発掘調査成果について
復元整備の基本的な施工方法について

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	
文化財の周辺環境の保全	実施済 実施中 未着手	

計画に記載している内容 重点区域の大部分は「宇治市景観計画」の重点区域となっており、建築物の高さや色、看板や屋外広告物等への規制など、景観保全に関する指導を行うとともに、修景助成制度を活用して良好な景観形成に資する改修事例が増えるよう誘導する。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

本市は、景観形成助成事業として、景観計画重点区域内の「景観重要建造物」や、景観重要公共施設の沿道の「建築物・工作物」への景観形成助成や「屋外広告物」の助成事業を実施している。平成21年度に「宇治市景観形成助成金交付要項」「宇治市景観形成助成金修景助成基準」を定め制度の充実を図り、平成22年度から景観形成助成制度を開始し、平成22年度、23年度にそれぞれ3件の景観形成助成事業を実施した。

また、宇治橋通りの無電柱化による道路景観の改善により、沿道の歴史的建造物や巡行する伝統的祭礼との調和を図ることができた。

【定量的評価】

電線類地中化事業延長 : L = 850m
 景観形成助成の件数 : 1件

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



無電柱化事業が実施された宇治橋通り



景観重要公共施設の沿道で景観形成された建築物

評価軸 - 6
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	
文化財の保全及び活用の普及・啓発	実施済 実施中 未着手	

計画に記載している内容
文化財に親しんでもらうことを目的とした市指定史跡庵寺山古墳の公開や小中学生を対象にした文化財見学会、発掘調査報告会、文化的景観フォーラム等を行っており、これらの活動や行事を通じて文化財保護の普及啓発に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

文化財保護の普及啓発を図るため、次の事業を実施した。

- ・春の庵寺山古墳の一般公開 平成24年5月19日(土)10時～15時 70人の来場者あり
- ・【宇治川太閤堤跡】パネル展示 平成24年9月19日(水)～10月8日(祝)9時～17時
- ・【宇治川太閤堤跡】発掘調査現場公開 平成24年10月10日(水)～12月8日(土)10時～15時
- ・第22回小中学生の文化財見学会 平成24年12月8日(土) 65人の来場者あり
- ・松殿跡発掘調査現地説明会 平成25年3月9日(土)13時～14時30分 約250人の来場者あり

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している	
計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



庵寺山一般公開の様子



発掘調査現場説明会の実施状況

項目	評価対象年度	平成24年度
埋蔵文化財の取扱い		現在の状況 実施済 実施中 未着手

計画に記載している内容 重点区域内には「宇治市街遺跡」、「平等院旧境内遺跡」、「白川金色院跡」、「宇治川太閤堤跡」等の埋蔵文化財包蔵地があり、整備や活用に反映させることとする。

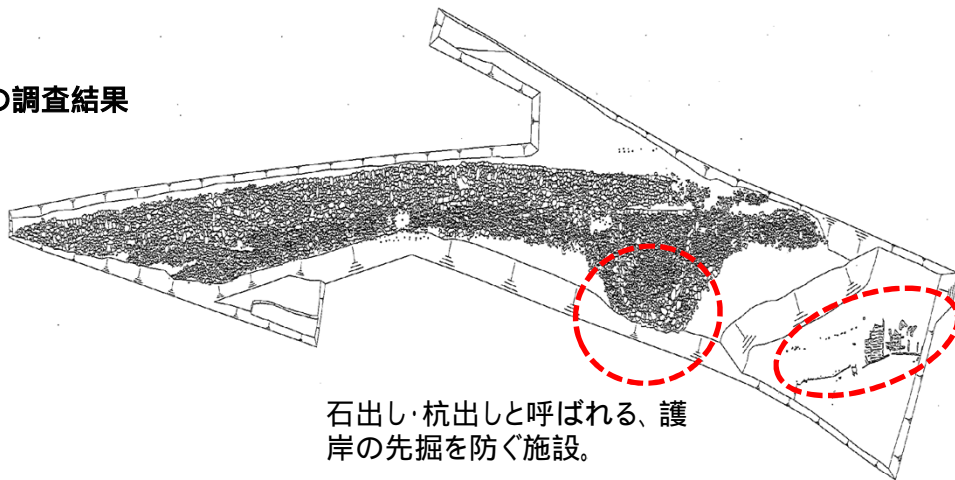
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

史跡宇治川太閤堤跡では、平成19年に護岸遺構を確認した箇所の再発掘を実施した。今回の発掘では未調査部分の発掘調査と、三次元測量によって護岸遺構の詳細な立体構造の記録作成を行った。再調査を実施したことで、平成19年の発掘では調査できなかった「石出し」の先端と「杭出し」と呼ばれる護岸遺構を検出し、杭出しが当初想定していた範囲を超える長大な施設であったことや護岸修復の状況が明らかになり、宇治川の治水の歴史や技術を知る上で貴重な資料を記録することができた。

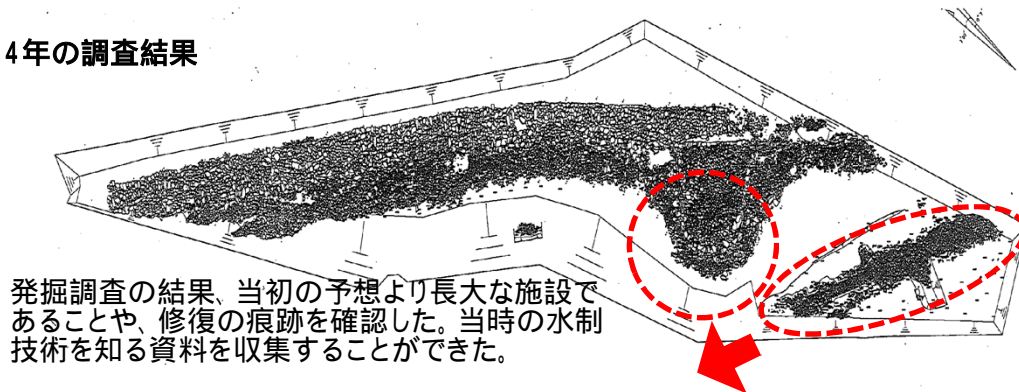
進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

平成19年の調査結果



平成24年の調査結果



文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	

埋蔵文化財の保存・活用に関わる住民・NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備		実施済 実施中 未着手
---	--	-------------------

計画に記載している内容
お茶どころ宇治の個性を磨くため、宇治茶園の覆下栽培を維持・拡大するための支援事業、宇治茶製法技術保存会への助成事業、「市民茶摘みの集い」や「宇治茶まつり」などの実施団体への助成事業など、宇治茶の品質向上・普及に努める農家や団体等への各種支援を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

高品質な宇治茶の生産を促進する事業として、宇治茶の伝統的茶製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手積み茶推進対策」支援事業を行い、宇治独特の茶園景観の形成に寄与した。
また、5月13日に開催した「市民茶摘みのつどい」の開催や、10月7日に宇治川河畔一帯で開催された「宇治茶祭り」、「市民素人茶香服大会」への支援を実施したことにより、多数の市民や来訪者に宇治茶への親しみや理解を深めることに寄与した。

【定量的評価】

- 伝統技術継承対策事業の実施件数 : 18件(341.9 a)
- 手積み茶推進対策の実施件数 : 39件
- 市民茶摘みのつどいの参加者数 : 350人
- 宇治茶まつりの参加者数 : 約1,800人
- 市民素人茶香服大会の参加者数 : 約70人

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



伝統技術継承対策事業により支援が行われた「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況



市民茶摘みのつどいの開催状況

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	掲載紙等
疫神祭「大幣神事」宇治初の無形文化財	平成25年3月29日	平成24年度	京都新聞

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

宇治市の維持向上すべき歴史的風致には「遊覧と参詣」「茶どころ宇治」「宇治に伝わる祭礼」の3つを上げている。「宇治に伝わる祭礼」の歴史的風致として、伝統的な行事である「大幣神事」を市の無形文化財に指定したことについて報道された。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画の進捗に影響あり 計画の進捗に影響なし	祭事の実施は地域の住民が行うが、観光客などの来訪者の見学が少ない。歴史まちづくり推進と観光振興は密接な関係にあることから、来訪者への祭事の効果的な情報発信を行い、遊覧と参詣の賑わい創出への活用が求められる。

状況を示す写真や資料等

宇治市の無形民俗文化財に指定された大幣神事(宇治市宇治、宇治市提供)

宇治市教委はこのほど、同市の宇治地区で行われる疫神祭「大幣神事」を無形民俗文化財の第1号に指定した。疫神を集めて宇治川に投げ捨てる神事で、中世期の形式がほぼそのまま残されている。同市小倉町の西山古墳は、古墳も有形文化財に指定し、指定総数は計56件となった。市の指定文化財はこれまで、建造物や彫刻などが中心で無形文化財はなかった。市が新年度から始める歴史的風致維持向上計画に伴い、地域住民が継承してきた行事や文化にも視野を広げた。大幣神事は、毎年6月8日に疫神を集めるため、幣と呼ばれる神前にささげる白い紙と傘で飾られた大幣が、

同市宇治の県神社から県通りと宇治橋通り、本町通りを巡行。最後に大幣を壊し、宇治川に流して捨てる祭礼で、県神社内の住民組織「大幣座」が行っている。

巡行には、風流傘や酌鉢といった古式の持ち物や、馬馳せの行事など当時の形式が残る。市歴史まちづくり推進課では「祭礼の簡略化や現代風のアレンジが進むなかで、当時のまま継承されている珍しいケース」と話す。西山古墳は、古墳時代後期の円墳。市西部で唯一現存する石室墳で、「古墳時代の様子」を伝える代表的な遺跡とされた。

市教委指定 3/29 京新

評価軸 -2
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
茶どころ宇治で市民茶摘み	平成24年5月15日	洛南タイムス
秋の源氏ロードを満喫 宇治十帖スタンプラリー	平成24年11月6日	洛南タイムス

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

宇治市の維持向上すべき歴史的風致には「遊覧と参詣」「茶どころ宇治」「宇治に伝わる祭礼」の3つを上げている。現代版の「遊覧と参詣」ともいえる「宇治十帖スタンプラリー」に市民や観光客が多数参加したことについて、また「茶どころ宇治」の歴史的風致として、覆下茶園を次世代に伝え宇治の風物詩を身近に感じることのできる市民参加型イベントとした「市民茶摘のつどい」の開催について報道された。

進捗状況 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

茶どころ宇治で市民茶摘み 宇治市

茶どころ宇治にある府茶摘組合茶業センター(宇治折居)の覆下茶園で13日に「市民茶摘み」が開かれ、親子連れなど約350人が参加した。

宇治の風物詩を身近に感じてもらおうと1971年から茶業センターの茶園(約15ヘクタール)の一部を市が借りて毎年の新茶時期に開いているイベント。

茶業青年団の団員らから新芽の摘み方のアドバイスを受けた参加者

芽の摘み方を示したチラシを見ながら、みずみずしい新芽を摘む茶摘みの体験。細のかすりの着物にあかねだすき、姉さんかぶりの摘み娘さんスタイルに扮した宇治茶レディも参加して市民イベントを盛り上げ、参加者には香り高い宇治煎茶で接待。

【岡本幸一】写真は覆下茶園で茶摘みを体験する参加者たち(宇治折居、府茶摘組合茶業センター)



秋の源氏ロードを満喫 宇治十帖スタンプラリー

5日間で1万7千人が踏破

◆！晩秋の宇治の風情を楽しみながら源氏物語宇治十帖ゆかりの地などをめぐり、源氏まん201「宇治十帖スタンプラリー」が4日にピリオドを打ち、5日間の開催で1万7688人が踏破。踏破の数は昨年を約600人下回った。

◆！コースは宇治十帖ゆかりの地をめぐり、基本コース(10ポイント)、約4.5キロ、散島神社(免道、興聖寺、天ヶ瀬ダム、白山神社(白川)や世界遺産の宇治上神社。◆！今年10月21日

県社などを巡る健康コース(22ポイント、約15キロ。踏破には関係ないが、中継・宇治川大堰堤、宇治市植物公園、貴山山万華、源氏物語ミュージアムも特別ポイントにした。

【岡本幸一】は踏破者が5人を超え、10月28日「文化の日」の8日(日)は朝から雨で踏破者が激減(731人)した他は3千人以上の踏破者を数え、晩秋の宇治川畔をめぐりラリーが親子連れから年配者まで幅広い世代にすっかり定着していることを伺った。

◆！踏破者の内訳は基本コースが1万8536人、健康コースが4102人だった。

【岡本幸一】写真は幅広い世代からの参加でにぎわった宇治十帖スタンプラリー(塔の島のゴール地帯)



評価対象年度	24年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 宇治市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 平成24年12月4日 10:00 ~ 12:00	
(コメントの概要)	
<p>評価軸 重点区域における良好な景観を形成する施策について 建物修景助成事業について、景観重要公共施設(道路)の沿道の建物を対象に助成をしていることについて、まちの魅力の向上を図るため面的な拡大が必要。</p> <p>国への提出書類について 進捗評価の対象となっていない事業の実施状況の報告があるのか。</p> <p>その他の意見</p> <p>1、歴史的風致の維持向上に資する事業の進捗状況の報告について (1) 歩行空間整備事業の変更について、整備効果や歴史的風致などの周知のため、道路の案内地図や標識の設置が必要。</p> <p>2、歴史的風致の維持向上に資する事業の今後の取組の報告について (1) 史跡整備事業、情報発信・観光交流施設整備事業(史跡宇治川太閤堤跡歴史公園整備事業)について、整備後の活用を図るため、整備内容が決定し次第、検討事項も含め市民や関係者に早期に情報発信する必要がある。</p> <p>(2) 観光振興計画策定事業について、観光振興計画策定委員会では歴史まちづくりの視点で意見が求められている。歴史資源を観光振興に活用する必要がある。また、歴史的な魅力のある街中を散策するには通過交通を排除する検討が必要。</p>	
(今後の対応方針)	
進捗状況や今後の取り組みの報告に対する意見は、検討事項に含め意見を反映していきたい。進捗評価の対象となっていない事業については、別途報告資料を作成し協議会委員に報告することとする。	